

# スミレックス®くん煙顆粒

■種類名：プロシモンくん煙剤

■有効成分：プロシモン-----30.0%

■登録番号：第14501号(住友化学登録)

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：1981.03.19

■性状：類白色発煙性円柱状 径約3mm、長さ5~8mm

■有効年限：満4年

■包装：50g×40袋

## 【特長】

- 灰色かび病、菌核病に効果のあるスミレックスのくん煙剤。
- 水を使わずハウス内の湿度を高めないため、多湿を好む病害の発生の助長が少ない。
- 処理が省力的で、ハウスの大きさにあわせて小分けでき経済的。

## 【適用内容】(2014年10月末日現在)

適用場所	作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	プロシモンを含む農薬の総使用回数	くん煙時間	使用方法	
温室、ビニールハウス等密閉できる場所	きゅうり	菌核病	くん煙室容積100㎡(床面積50㎡×高さ2m) 当り6g	収穫前日まで	6回以内	6回以内(常温煙霧は2回以内)	通常10~15時間	くん煙	
		灰色かび病							6回以内
									3回以内
									3回以内
	すいか	菌核病		収穫7日前まで	5回以内	5回以内			
	みかん	灰色かび病	くん煙室容積100㎡(床面積33㎡×高さ3m) 当り10g	開花期 但し、収穫45日前まで	3回以内	3回以内			
	オクラししとう		くん煙室容積100㎡(床面積50㎡×高さ2m) 当り6g	収穫前日まで	5回以内	5回以内			

## 【効果・薬害等の注意】

- 温室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じて数箇所(通常1箇所当り25~50g)に分けて配置し、煙がまんべんなく室内に行きわたるようにすること。
- くん煙する場合は、土間、バケツ、大皿等の不燃性のものの上に磁製容器を置き、その上に本剤をのせてくん煙すること。なお、植物体、可燃物から離れた安全な場所にくん煙容器を設置し、ビニールの近くでは発煙させないように注意すること。
- 点火の際、点火紙や顆粒が燃える場合は、直ちに吹消して白煙を出させること。
- 通常は夕方他の農作業終了後にくん煙を行い、くん煙開始後、少なくとも8時間は開放しないこと。
- 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので使用しないこと。
- 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には薬害を生ずるおそれがあるので使用は避けること。
- 高温時のくん煙は薬害を生じる場合があるので、なるべく夕方温度が下がってからくん煙すること。
- トマトは薬害を生じやすいので、下記の注意事項を厳守すること。
  - ◆ 次の条件の場合は使用しないこと。
    - ① 生育が一時停止するような低温にさらされることがある栽培をしている場合。
    - ② 軟弱徒長気味な栽培となっている場合。
    - ③ 微量要素欠乏又はその疑いのある場合。
    - ④ 高温多湿条件の場合。
  - ◆ 使用する場合は次の注意事項を守ること。

- ① 所定の薬量を厳守し、薬量過剰にならないようにすること。
- ② 繰り返しくん煙する場合は、使用間隔を十分（14日以上）あけること。
- あぶらな科作物（特にだいこん、はくさい、ストック等）には薬害を生ずるおそれがあるので、施設内にそれらの作物がある時には使用をさけるなど十分注意すること。
- 直接飲食に供するもの、魚類水槽、小鳥類などはくん煙室内に置かないこと。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。

**【安全使用上の注意】**

- ❖ 点火等の作業の際は、農業用マスクを着用すること。また煙を吸い込んだりしないよう注意し、作業後はうがいをする。
- ❖ くん煙中はハウス内に入らないこと。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- ❖ 通常の使用方法ではその該当はないが、可燃性があるので、火気に近づけないこと。
- ❖ 保管：火気や直射日光を避け、子供の手の届かないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

**使い方**

- 夕方すべての農作業が終了したら、ハウスから煙が逃げないように密閉する。（天窓を閉じる、すそを降ろす等）
- ハウス室内容積（面積×平均の高さ）に応じた適量の薬量を決め（下記使用薬量早見表を使うと便利）通路に分散させて配置する。
- 配置基準は、1ヶ所に半袋から1袋。
- 点火紙を利用して点火する。
- 配置し終わったら、煙をできるだけ吸入しないように奥の方から点火する。
- 点火を完了し、発煙を確かめたら、戸を閉めてそのまま8時間以上密閉する。ハウス内に温風暖房機など送風装置がある時は、作動させておいた方が早く、均一に煙が拡散する。
- 他の顆粒型くん煙剤と同時に使用する場合、ハウス容積 100 m<sup>3</sup>当り混合総量で 50g を超える時は煙害の出ることがあるので注意する。

使用薬量早見表（スミレックスくん煙顆粒）

ハウス面積 高さ(平均)		使用 薬量	50 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	700 m <sup>2</sup>	900 m <sup>2</sup>	1000 m <sup>2</sup>
			(約 15 坪)	(約 30 坪)	(約 60 坪)	(約 91 坪)	(約 152 坪)	(約 212 坪)	(約 273 坪)	(約 303 坪)
屋根 の高さ	2m		6g	12g	24g	36g	60g	84g	108g	120g
	2.5m		7.5g	15g	30g	45g	75g	105g	135g	150g